平成30年度当初予算　予算要求シート

事業区分：　新規・拡充　**マスタープラン**：　**3つの挑戦** 低炭素　／　**施策番号** 4-1 ・ 4-2 ・ 5-3 ・　**局・課名**：産業振興局・ものづくり支援課

事業名	**製品・技術開発支援事業**

事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額
	50,167	50,347	56,987

債務負担行為	期間	要求額（千円）
	H30 ～ H31	10,000

事業概要

【目的】

中小製造業者等の核となる優位な製品・技術の開発を支援し、製品・技術の高付加価値化や新分野進出の円滑化を図ることを目的とする。また、近年深刻な課題となっている人材不足を補うため、IoT導入により生産性向上を図り、経営基盤を強化することを目的とする。

【内容】

1. IoT導入支援事業【拡充】
中小製造業者等において、経営課題や生産性等の課題検証を実施し、課題に適したIoTによる解決策を提供するとともに導入支援を行う。
2. 第二創業者による大手企業とのビジネスマッチング事業【新規】
次代を担う中小製造業者等における若手経営者を対象に、多様なベンチャー企業経営者による研修・交流を通じて、起業マインドを掘り起こし、第2創業や新規事業展開を促進する。さらに、大手企業とのマッチング等により共同開発や取引拡大につなげ、将来のインパクト企業（市内における中核企業）への成長をめざす。
3. 技術融合促進事業
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰを産業振興センターに配置し、大学や大手企業の知的財産等技術と中小製造業者等が保有する技術の融合を促進する。
4. ものづくり新事業チャレンジ支援補助金
新製品・新技術の開発に取り組む中小製造業者等へ経費の一部を補助する。
①一般枠（1年・500万）②特定テーマ枠（2年・2000万）
※3、4については、大阪府産業技術総合研究所との協定に基づき、積極的な技術支援を実施。

【今年度要求のポイント】

現在中小製造業者等は、深刻な人材不足であり、また厳しい経営環境のもと大型投資による生産性の向上もなかなか期待できない状態である。このような課題の解決を図るためスタートしたIoTの取組について、30年度は、実際に中小製造業者等への導入支援を行うとともに、導入事例を他企業へ啓発することにより、IoTに関する取組を促進する。また、大手企業との新たな取引拡大による将来のインパクト企業への成長を見据え、次代を担う経営者を対象に、新事業や第2創業につながる人材育成およびビジネスマッチング事業をスタートさせる。

主な要求内容　（単位：千円）

項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等
IoT導入支援モデル事業【拡充】	1,200	5,000	委託料等
第二創業者による大手企業とのビジネスマッチング事業【新規】	0	5,000	委託料等
大手と市内中小製造業の協業促進	2,160	0	第二創業者による大手企業とのビジネスマッチング事業へ再編
技術融合促進事業	1,664	1,664	委託料等
ものづくり新事業チャレンジ支援補助金	45,000	45,000	補助金
			25,000千円（①一般枠 H30単年度）
			10,000千円（②特定テーマ枠 H29-30 債務現計化）
			10,000千円（③特定テーマ枠 H30-31 新規分）
その他	323	323	事務経費等
合計	50,347	56,987	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～29年度）】	【30年度】	【今後予定（31年度～）】
成長産業分野進出支援や大手企業とマッチング等、取引拡大による研究開発型企業への転換を促進。IoTに関する中小製造業者等を対象とした基礎調査を実施。	IoT導入により、人材不足を補い生産性の向上を図るとともに、市内他企業へも普及させる支援を実施。また、大手企業との新たな連携を見据え、次代を担う経営者の第2創業支援を実施。	必要な改善を行ったうえで実施。

みんなの審査会対象外
関連事業：

整理番号　：　15　－　1　－　0050